

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：相模原市立田名保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：宮崎明子	定員（利用人数）：165名（利用者151名）	
所在地：〒252-0244 相模原市中央区田名6229-2		
TEL：042-761-0905		
ホームページ： https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和31年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：相模原市		
職員数	常勤職員： 31名 非常勤職員： 28名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：44名	事務補助：1名
	調理員：9名	保育補助：3名
	庁務員：2名	嘱託医：2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：3室 トイレ：7か所 調理室：1 事務室：1	
	（設備等）園庭：有	

③理念・基本方針

『全園児を全職員で』を合言葉に保育をしています。

* 私たちがいつも大事にしていること *

- ・ 緑豊かな自然環境の中で、のびのびと過ごせる保育をめざします。
- ・ 子どもの要求に柔軟に応じ、一人一人を尊重する保育をめざします。
- ・ 異年齢児との交流や地域との関りの中で思いやりやさしい心を育みます。
- ・ オープン保育を通し、子どもの自主性や主体性を育てる保育をめざします。
- ・ 子どもの成長を共感し、保護者と子育ての喜びを分かち合います。

④施設・事業所の特徴的な取組

* オープン保育

子どもの主体性と創造性を尊重し、一人一人の興味・関心に基づいて、主体的に活動できるようにすることを目的として、年間を通してオープン保育を取り入れています。

* 様々な人との交流

オープン保育を通しての異年齢交流や地域の施設、保育園との交流、実習生やボランティア学生の受け入れを積極的に取り入れ豊かな心を育てています。

* 支援保育

支援コーディネーターを配置し、子どもの健やかな成長と発達を保障した支援を行っています。市内他機関との連携も行っています。

* 自然の中での豊かな経験

園庭だけでなく近隣の公園や川などに散歩に出向き自然豊かな中での関りを経験して

います。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月30日（契約日）～ 令和4年3月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（2015 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)年間を通してオープン保育を取り入れています

子どもの主体性と創造性を尊重し、個々の興味・関心にもとづいて主体的に活動できるようにすることを目的としてオープン保育を取り入れています。コーナーごとにスペースを設け、好きな遊びを選んで活動出来るようにしています。子どもが楽しみ、満足感が得られるように翌日も同じ遊びを継続して行える環境にしています。活動の時間と空間の保障が出来るように職員間で連携し協力しながら保育を進めています。

2)職員は創意工夫をして問題解決に取り組んでいます

職員は園の保育理念や基本方針を理解し、保育の質の向上に取り組んでいます。職員が集まり、付箋紙を使ってデータを記入して問題点を抽出し、改善策を講じるKJ法などで、課題の把握や改善策を講じる仕組みを構築しています。例えば、コロナ禍にあっては何が問題で、自分たちは何ができるのかを討議し、子どもの送迎時の保護者とのコミュニケーション不足に着目しました。園での子どもの活動状況を写真に撮り、保育室の外に掲示することによって子どもの様子を保護者に伝え、コミュニケーション不足を補うなどの改善に取り組んでいます。

3)食事への興味を育てています

幼児クラスでは野菜の下ごしらえやクッキングを経験することで、食事への興味を育てています。子どもたちは野菜の栽培や水やりなどの世話をしています。栽培・収穫の様子をボードで掲示したり、給食サンプルやレシピの配布などで保護者との会話に繋がっています。神奈川県から認定されているふるさとの生活技術指導士の方や相模原市食生活改善推進団体わかな会の協力のもと、地域の食文化に触れる機会を設けています。

◇改善を求められる点

1)保護者意見把握のためのアンケート等の回収率向上が期待されます

日頃から保護者の声を大切にしています。年度末には保護者アンケートを行い、積極的に意見を把握し結果を掲示しています。行事後には感想・意見用紙を配布して意見を募っていますが、記述形式のためか、回収率が良くないようです。配布する日時を変えたりなどの工夫はしていますが、今後は内容の見直しなども考慮し、より多くの保護者意見の把握に務め、サービスに活かしていく事が期待されます。

2)災害時の園と地域との相互支援が期待されます

園は災害時に乳幼児支援ステーションを開設するなど地域住民の支援を行う体制ができていますが、地域から園に対する支援体制の構築は十分ではない状況です。有事の際に支援し合える関係づくりを目指して、近隣住民や施設と関係構築を図り、地域住民と連携した避難訓練の実施など、災害時の相互支援体制の構築が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

受審を通して保育内容や環境の見直し等保育の質の向上に繋げることが出来たと思っています。平成27年度を受審後その経験を引き継ぎながら保育を進めてきましたが、保育制度等も変わり、また、職員も入れ替わっていくなかでもう一度田名保育園の保育を考える良い機会になったと思っています。

話し合いを繰り返す中で、課題や目標を共通理解し保育に反映できていたと感じています。様々な職位や担当クラスが一丸となって一つの目標を持って取り組んできました。当たり前のように行っている様々な事柄にはどのような意味があるのか、それを知ったうえで皆が同じ思いで保育を進めていくということの大切さ、職員一人一人が自己評価を行えたことは大変貴重な体験だったと思います。保育の理念にもあるように子ども達の自主性や主体性を育てる保育を目指す中で職員も自主性、主体性が持てるようそれぞれが自己啓発をしてきました。

今後も田名保育園の良いところをさらに充実し伸ばしながら、また、改善が求められる点に関しては保護者の方のご意見や、職員間の話し合いや研修への参加などを通じて改善します。利用者の皆様にご満足頂けるような保育園を目指して職員一同取り組んでいきたいと思っています。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり